

平成30年度 第1回石狩市社会教育委員会の会議 議事録

日 時 平成30年6月5日（火曜日）午後2時00分～3時35分
会 場 石狩市公民館 第一研修室
出席者 山田浩人、竹島美智代、二上朋子、林 一元、大橋修作、納谷眞智子、木田 彰、
大内さつき、木村 純、永田志津子、松本史子
事務局 鎌田教育長、東次長、相原厚田生涯学習課長、斉藤主査（社会教育主事）、栗谷主査
（社会教育主事）、西山主査（社会教育主事）、齊藤主任、佐藤主任、菊地主任、須藤主
任、薩来主事、亀浦生涯学習推進アドバイザー
傍 聴 なし

1. 教育長あいさつ

【栗谷主査】

只今から平成30年度第1回石狩市社会教育委員の会議を開催させていただきます。まず、委
嘱状交付について説明させていただきます。本来であれば教育長から委嘱状を交付するところ
でございますが、会議の時間の関係もあり委嘱状をそれぞれのお席に置かせていただいております。
ご了承をいただきますようお願い申し上げます。それでは早速会議次第に入らせていただき
ます。

最初に、石狩市教育委員会教育長 鎌田英暢よりごあいさつ申し上げます。

【鎌田教育長】

皆様こんにちは。教育長の鎌田でございます。

本日は、ご多忙の中、本会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃より、本市のまちづくりをはじめ、社会教育の推進にご尽力をい
ただき、重ねてお礼申し上げます。また、このたびは社会教育委員をお引き受けいただきありが
とうございました。今後2年間、よろしくお願い致します。

本市での社会教育においては、子どもから高齢者までのすべての市民が、生涯を通じて、いつ
でも、どこでも、自由に学びの機会を選択し、自ら学び、その成果を生かすことができる生涯学
習社会の実現を目指すことが益々重要となっています。

そのために、市民があらゆる学びの機会を有効に活用できるよう、きめ細やかな学びの情報や
場を提供していくことが重要であり、そこから得られた経験や知識が、自己実現のために生かさ
れ、さらに、その活動が地域や組織、生活の様々な場面を通じて社会全体に生かされるよう、地
域で育ち・学び・生きる教育を推進しております。

そのような中で、様々な分野でご活躍されている社会教育委員の会議の場は、まさしく私ども
に、最もタイムリー、かつ貴重な情報やご意見をもたらしてくださる存在であると考えておりま
す。また、ここ数年、社会教育委員の取り組みとして、パネルディスカッションやフィールドワ
ーク、更に地域ヒアリングなどを通じて、本市の現状把握と地域課題の発掘などの取り組みが行
われており、今後も引き続き「行動する社会教育委員」の実践とその成果に大いに期待してい
るところでございます。加えて、2年後にスタートする本市の新しい教育プラン策定に向けた議論

もお願いしたいと考えております。

本日は、この任期初めての会議となりますが、具体的な検討内容、スケジュールの確認なども含め、活発なご議論をいただき、本市の社会教育行政の推進にご尽力いただければ幸いに存じます。

終わりになりますが、本日ははじめとして、今後2年間ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。

2. 委員及び関係職員紹介

【栗谷主査】

続きまして、各委員の自己紹介をお願いいたします。

(委員自己紹介)

【栗谷主査】

続きまして教育委員会で社会教育の分野を担当する職員の自己紹介を行いたいと思います。

(職員自己紹介)

3. 委員長・副委員長選出

【栗谷主査】

次に委員長及び副委員長の選出に移ります。委員長・副委員長の選出に関してご意見をお持ちの方はおられますか。特にご意見がないようでしたら、事務局で案を用意しておりますので、提案させていただいてよろしいでしょうか。

(承認)

では、委員長を木村 純様、副委員長を大橋修作様にお願いいたします。

それでは、委員長からごあいさつをお願いいたします。木村委員長よろしくをお願いいたします。

4. 委員長あいさつ

【木村委員長】

只今選任いただきました木村です。昨年は全国社会教育大会が北海道で行われ、委員の皆さんも積極的に参加していただいたところです。社会教育委員の会議は年に数回しかございませんが、いろんな研修の機会を通して皆さんと一緒に頑張って勉強していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【栗谷主査】

ありがとうございます。なお、鎌田教育長につきましては公務のため、ここで退席させていただきます。

(教育長退席)

【栗谷主査】

ここで、議事に入る前に、新たに社会教育委員になられた方もいらっしゃいますので、社会教育委員の職務、また、平成 30 年度事業概要並びに各種資料について説明いたします。

(職務の説明：斉藤主査　事業概要・各種資料説明：栗谷主査)

【栗谷主査】

これ以降の議事進行につきましては、木村委員長にお願いいたします。

5. 報 告

【木村委員長】

会議次第に従いまして、会議を進めます。

それでは報告の(1)、会議出席報告として、平成 30 年度石狩管内社会教育委員連絡協議会総会(新篠津村)について、私からご報告いたします。

平成 30 年度石狩管内社会教育委員会連絡協議会の総会が新篠津村で行われました。

毎年 4 月に開かれますが、詳しい事業報告と事業計画の案が資料に記載しておりますので、読んでいただくと分かりますが、特に大事なこと一つは、昨年全国大会を関係者みなで一生懸命お手伝いをする中で成功の内に終了し、特に管内の社会教育委員同士の連帯が深まったというようなことが議論されました。その後、4 月 20 日に北海道社会教育委員連絡協議会総会が行われました。

今年度の石狩管内社会教育委員連絡協議会総会にて、輪番で石狩市が石狩管内の会長ということになりました。また、4 月 20 日の北海道社会教育委員連絡協議会総会では、これは輪番ではないのですが、全道の副会長として選任されました。なお、昨年全国大会と兼ねた北海道社会教育研究大会ですが、今年は 10 月 12・13 日にルスツリゾートで開催されるということが決定しております。

6. 議 事

【木村委員長】

次に、議事に入ります。(1)「平成 30 年度石狩市芸術文化振興奨励補助金について」、事務局から報告をお願いします。

(佐藤主任説明)

【木村委員長】

アートウォームの事業ですが、全体参加者が 90 人というのは、会場規模によるものなのか。

【須藤主任】

アートウォームは小規模の演奏会を行うもので、広さは狭く、演奏スペースを考えると妥当な人数になります。陶芸などの展示会の場合は、出入りがあるので人数は多く見込めると思います。

【木村委員長】

沢山の人に効果が及ぶということが補助金の使い道としては適切と考えるが、参加者 1500 人が 13 万円、90 人が 37 万円なのは不自然に感じてしまう。アートウォームの事業は他の助成も考えているのか。

【東 次長】

支援者から聞いているのは、他の補助金も活用しながら実施したいと聞いております。ただ、詳細は把握しておりません。

【木村委員長】

日本・アルゼンチン国交の活動というのは、この団体とは限らず、石狩市ではずっと続いてきたことか。

【東 次長】

特別です。アートウォームの NPO 法人が舞台化したいという話の中で予定されているということになっている。90 人というのは少ないが、キャパとして妥当。花畔の元々農協の倉庫を活用した施設で、非常に雰囲気がいいと好評である。アートウォームはこれまでも、舞台、音楽、読み聞かせなど様々な活動しており、いろいろ声掛けしながら石狩市の芸術文化振興を目的として活動されている団体である。教育委員会としても、できる限りのサポートしていきたい。人数的に少ない分、内容の濃い充実した演奏となることや、今回のプレイヤーの ヤヒロ トモヒロさんの音楽を身近に聴けるという機会は中々ない、子ども含めてもないと考えたときに、このような事業について一定の支援をさせていただきたいという考えであります。

【木村委員長】

社会教育委員としての希望としては、仲間内だけではなく、できるだけ多くの市民に見られるようにして欲しい。今回のコンサートは、そんなに鑑賞する機会があるわけではないので、市から助成金が出てるのに自分たちは選ばれなかったというようにならないよう努力していただきたい。

【納谷委員】

チケットは販売などするのでしょうか。

【須藤主査】

入場料を取るようになっておりますので、チケットは販売されると思います。

【木村委員長】

それではこの 2 つの事業に助成をするということで了承していただいてよろしいですか。

(承 認)

【木村委員長】

それでは引き続き議題 2 の平成 30 年度社会教育委員の取り組みに移ります。

私から委員の皆さんにお計りしたいと思いますが、A4 一枚のプリントを用意しておりますが、提案をさせていただきます。

1 つ目は、昨年の年末、石狩市浜益区の地域リーダー 10 名の方に私と事務局とでヒアリング調査を実施していますが、今年度は浜益の地域づくりと社会教育の課題について報告会を実施し、そのことも踏まえ今年度中に報告書を作るということ。2 つ目は、花川地区においても社会教育委員、事務局、その他関係者ぐらいの規模にて報告会を実施するものです。花川地区は 7 月頃、浜益会場は浜益支所と相談し実施すること、社会教育委員の皆様は、できればご都合がつく方には是非参加をしていただきたいということです。ヒアリングの中では、浜益高校が無くなると子ども達が地区外の高校に行くことだけではなく、家族も一緒に出て行くこととなり、人口減少に拍車を掛けたこと、また、区内での買い物もコンビニは 1 つあるものの、地元で買い物をするという人はほとんど居なく、特にお年寄りとは人と会い、情報交換したりする場がなくなっているのが現状。自分の子どもが浜益にずっと残るという見通しがある人は 10 人の中にはほとんど居ません。農業や漁業では、好調で人を雇いたいぐらい忙しいが、東京オリンピックまではほとんどその人を雇うという見通しが立てられないということでした。今回のヒアリングの内容をまとめ、日程が決まれば更に追加の補足的なヒアリングを行ない、報告会の準備をしたいと思っております。

3 つ目は、社会教育委員が地域の中でどう役割をするのかということ去年、札幌市を会場に全国大会で行いしましたが、札幌以外の市町村の社会教育委員が中心となったことにより、北海道の社会教育委員の活動の関心が高まっているということ、また、道内や石狩管内の社会教育委員同士の連帯が深まったこともあるので、全国大会で新しく理事として選ばれた徳島大学の大学馬場祐次朗先生に管内の社会教育委員の方々にも声を掛けながら講演会を実施し、石狩市の社会教育も知っていただきたいと思っております。

1 つ目と 2 つ目は予算含めて行政の応援が必要かと思いますが、3 つ目は何とか全国社会教育委員連合会を含めて交渉したいと思っております。

これまでの取り組みとして、厚田・浜益のことを取り上げてきましたが、今年度からは、地域全体において問題になっている高齢者の社会教育活動について取り上げたい。これから高齢者の社会教育活動がどうなり、どういう機会があるのか、そしてどういう課題を抱えているのかということを社会教育委員の皆さんで手分けをしながら、ヒアリングや資料を集めたりしたいと思っております。

石狩市は子育てに係る市民活動がとても盛んであり、立派な子育てガイドブックというのを作成しております。これは全道的にも誇れるものですし、多分全国的にも優れた事例の一つだと思っております。

社会教育委員の皆さんの中には、市民カレッジにおいて高齢者の方々はどのように参加しているかなど、色々気がついていることもあると思うので、情報を持ち寄りながら、石狩市の高齢者の社会教育活動が今どうなっていてどういう課題を抱えているのか調べ、その結果、石狩市の高齢者が生き生き学び、暮らすためにガイドブックやハンドブックとしてまとめてはどうか。

今年度については、それぞれご自分の回りやご自分に関わっていることを調べていただいたり、手分けをしながら進めてはどうかと考えている。

具体的には、次回の社会教育委員の会議時に皆さんにも考えてきていただいて、それぞれの関

心の範囲の中で関わっていただければいいと思います。

何かご質問、ご意見ありますか。

【納谷委員】

町内会に高齢者の集まりがあると思います。

【木村委員長】

老人クラブなどお年寄りが集う場や居場所が市内にはあると思います。

【納谷委員】

そのような項目だと調べやすいかもしれません。

【木村委員長】

項目をどうたてるかを次の社会教育委員の会議まで考えてきていただければと思います。高齢者の活動も地域の条件を活かし、どう社会教育を発展させるかいうことを考える作業が大事であり、何より、直接高齢者の社会教育や福祉に関わっている方々に社会教育委員が伺ってお話を聞くこと自体が社会教育や社会教育委員の役割を地域の方に理解していただく機会になると考える。また、厚田や浜益についても、もし調べる機会やお話しする機会があれば、対応していきたいと思います。

【永田委員】

趣旨に賛同いたします。来年度末にそのハンドブックをつくるとした場合、夏から秋などヒアリングを行いやすい季節があると思うのですが。

【木村委員長】

今回の社会教育委員の会議が10月頃なので、前倒しで調べるが出てきた場合は、事務局と色々相談しながら進めていきたいと思います。

【永田委員】

包括支援センターがありますが、高齢者福祉関連で高齢者の方々が集まるサークル活動も含めた動きもあります。

【木村委員長】

包括支援センターにヒアリングに行くことや、活動の場に出向くなど、自分も関わってみたいという方が居たとしたら一緒に活動するようなことも含めて考えています。

【永田委員】

次回10月の会議に項目をつくるのは遅い気がしますが。

【木村委員長】

冬にはそんなに遠くには行けないと思うので、中心市街地のヒアリングに留まると思うが、本格的には次年度初めということになるかもしれません。

【東 次長】

例年 10 月ということですが、9 月中に開催することもできますので、相談をさせていただいて具合的な時期については、もう少し詰めさせていただきます。

【木村委員長】

予算の面も含めて相談しなければいけない。

【東 次長】

社会福祉協議会が高齢者だけではなく障がい者を含めて様々な動きをしていると思いますので、データを事務局にて収集させていただき、委員の皆様提供したほうが具体的なイメージが沸くのではないかと。興味を持ったところにターゲット絞っていただくことも出来るかと思えます。

【木村委員長】

今回の社会教育委員の活動にあたって、移動は公用車を使用することになると思うので、後日相談させていただきたいと思えます。今年度以降、活動を実施するという事でよろしいでしょうか。

(承 認)

7. その他

【栗谷主査】

前回の会議にて、手話に係る社会教育事業の取り組みに伴う質問を、平成 29 年度の石狩市内の手話に係る事業・講習会等の内容や実施件数、参加者数などを報告。

【東 次長】

石狩市教育プランに係るこれまでの取り組みと今後の方向性含め説明。

議事録は上記のとおりであることを認めます。

平成 30 年 7 月 16 日

石狩市社会教育委員の会議 委員長 木 村 純